

クラス番号	607	担当教員名	伊藤 文人
テーマ	日本と世界の社会福祉実践家の歩みを読む：ベヴァリッジから湯浅誠まで		
著書・論文 研究課題等	<p>研究課題：ソーシャルワークの歴史・価値・倫理・社会理論の国際比較研究</p> <p>論文：'The Rise and Fall of Professional Social Work in Japan: evolution, devolution and neoliberal turn?' 『現代と文化』123号、「ソーシャルワークと社会正義」『総合社会福祉研』第32号</p> <p>「高島進教授の社会福祉研究の歩み」『社会福祉論集』第110号、「宮田和明教授の研究を振り返って」『社会福祉論集』追悼号など</p>		

## ゼミナール概要

キーワード：慈善家、社会事業（ソーシャルワーク）と実践家、人権、ミッション（使命）、社会正義

みなさんは<現在の社会福祉実践の世界>をどのようにイメージしていますか。

実はこのイメージは時代を超えて、かつて社会福祉を切り拓いてきた歴史上の実践家たちもみなさんと変わらない思いを持っていると思います。私たちは、こうした先行世代の血のにじむような努力のおかげで、社会福祉実践の世界に飛び込むことができていることを忘れることはできないように思います。

もちろん、<現在の社会福祉実践>には多くの課題がありますね。それは目の前にいる利用者の実践（ケア）の課題から、市民の社会福祉に対する理解のあり方、財政的制約、様々なサービス給付水準など、実践家（ソーシャルワーカー）を取り巻くハードルは高く険しい一面を持っています。こうしたくいま、そこにある>課題を克服する有益な一つの方法は、かつて社会福祉を切り拓いた実践家たちの行動の軌跡から、彼らの福祉実践に対する考え方を理解し、これを教訓として生かしていくことです。

先行世代が社会福祉を切り拓いた頃は、日本も世界もまだ貧しく、言論の自由も制限され、多くの人たちが飢えと貧困、孤独に苛（さいな）まされていました。こうした逆境のなか、個々の実践家は、どのような動機で、どのような行動原理で、どのような人々と共に、どのような方法で、高齢者、障がい者、子ども、女性、貧困者など、抑圧され、差別され、周辺化され、排除されつつあった人々の人権をどのように擁護し社会正義を達成していったのでしょうか？彼らの実践から何を読み解くのか、<未来の社会福祉実践>を占う鍵は、そうした過去の歩みと真摯に向き合うことから始まると思います。

このゼミでは、福祉実践コースで実践家を目指すみなさんと共に、日本と世界の社会福祉実践家の歩みを追体験し、次の時代を切り拓く社会福祉実践の基盤を培っていくために開講されます。

### 【方法・計画】

ゼミでは、①日本と世界の社会福祉実践家の行動や思想の軌跡を文献購読し、彼らが厳しい時代背景の中でどのような社会福祉実践を実施してきたのか、②こうした彼らの考え方が現在の社会福祉制度や実践のあり方にどのように連続しているのか、を比較対照しながら理解を深めていきます。③さらに、こうした実践家が切り拓いた社会福祉施設や組織を訪ねて、実践家のミッションがどのように現在の支援に生かされているか、フィールドワークを通じて深く学んで行きます。④それをしっかり卒論に結びつけてもらいたいです。

（主要参考文献）室田保夫編著『人物で読む近代日本社会福祉の歩み』同『人物で読む近代西洋社会福祉の歩み』ミネルヴァ書房 ←後者は近日発売で、筆者も執筆しています。

### 【ゼミ生からメッセージ：伊藤ゼミとはこんなところ（らしい・・・）】

- ①自分の興味あることをとことん追求してよい。調べたことは必ず添削を受けられるので新しい気づきを得られてレポート執筆能力が格段に上がり、自信がつかます！
- ②先生は優しいのでどんな質問にも答えてくれる。私たちを見捨てない！これは財産です。
- ③アクティブな活動大好き！ゼミでやりたいこと（鍋パーティー、BBQなど）は自由に発案・計画実行OK！

### 担当教員からのメッセージ



①ゼミの主体はみなさんです。みなさんのやる気次第で楽しくなります！積極的に学びあい、討論し、他者への配慮と歓待ができる人を歓迎します。②歴代のゼミ生は、公務員を中心にソーシャルワークの現場で活躍している人がいます。そうした先輩方は必ず社会福祉士資格を取得しています。ゼミ生同士で受験勉強することも奨励します。また、先輩との顔合わせ（新旧ゼミ生交流会）は、来年の定期試験明けに実施しますので、連絡先（メールアドレス）は記入しておいてください。③エントリーシートには、過去の実践家から何を学びたいのか、また、ゼミでどんな勉強や活動をしたいのか、自己アピールをできるだけ書いてくれるとうれしいです。